

【CL名】大西貴大さん 【解答者】はくにゃん 【作成日】2024年3月9日 【作成時間】55分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか。

- 1) 現在のITエンジニアのお仕事をフリーランスで活動していて、いかがですか。
- 2) 10年エンジニアのお仕事をしていて、この10年を振り返ってどのように感じられますか。
- 3) AI生成ツールに自分のやっている仕事も置き換わるのではないかと思うのはなぜなのでしょう。
- 4) 営業活動が苦手とのことですが、どのあたりがそう感じるのでしょうか。
- 5) 最近特に切られちゃったらどうしようと不安、というのはなぜなのでしょう。
- 6) あまり考えずになんとなくフリーランスになったご自身についてはどのように思われますか。

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者の不安な気持ちを傾聴しながら、フリーランスの働き方について問いかけることで、ご自身が営業が苦手なこと等を語っていただき、徐々に信頼関係の構築ができつつある点。

事例ⅡのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由: 相談者の職業観についてや、自身の仕事がAI生成ツールに置き換わるのではないかという不安な気持ちに問いかけることができず、15分では来談目的に焦点を当てることができていない点。

[問い3] クライアントの主訴

AI生成ツールに自分がやっている仕事が置き換わるのではないかと、漠然とした不安を感じて来談いただいた相談者に、現在のフリーランスとしての働き方を選択して良かった点悪かった点をお話しいただいた。そのうえで、あまり考えないまま選択したフリーランスという働き方で、現在の会社1社に依存している状況にも関わらず、会社員時代に感じた営業に対する苦手意識から営業活動に消極的で、仕事を切られるリスクに対して策を講じておらず諦めのような気持ちを抱えているのが現時点での主訴。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

今後について不安な気持ちを感じつつ、ご自身の状況について沢山お話しいただく相談者のお話を引き続き傾聴し、更なる信頼関係の構築に努める。そのうえで、あまり考えないまま現在のフリーランスを選択したことについて問いかけ内省を促す。また独立した現在、主体的に仕事を獲得しなければならない自身の状況について改めて考えていただく。またスキルの棚卸しを提案し、ご自身の強み弱みを認識いただいたうえで、AI生成ツールに仕事が置き換わる不安な気持ちを改めて問いかける。最終的には相談者が不安な気持ちとも向き合いながらも、自己理解しつつ前向きに働けるようご支援していく。